

藤 医 第 373号
平成23年10月 4日

地 域 医 療 支 援 病 院 業 務 報 告 書

静岡県知事 川勝 平太 様

住所（所在地） 静岡県藤枝市駿河台四丁目1番11号

報告者

氏名（名称及び代表者氏名）

藤枝市立総合病院

藤枝市長 北村 正平



22年度の業務について、次のとおり医療法12条の2の規定により報告します。

記

1. 地域医療支援病院の名称 藤枝市立総合病院
2. 開設の場所 静岡県藤枝市駿河台四丁目1番11号
3. 紹介患者に対する医療提供及び他の病院（診療所）に対する患者紹介の実績
4. 共同利用の実績
5. 救急医療の提供の実績
6. 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
7. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
8. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
9. 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績
10. 患者相談の実績



(様式例第1)

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院（診療所）に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率	62.3%	算定期間	平成22年 4月 1日から 平成23年 3月 31日まで	
			地域医療支援病院 逆紹介率	74.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数	9,801人		
	B: 救急患者の数	1,456人		
	C: 初診患者の総数	18,075人		
他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,476人 (3,996人)		

- (注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下第1位までを記入すること。それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。
- (注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあっては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。
- (注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、()内に「A: 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。

平成22年度 藤枝市立総合病院の紹介率・逆紹介率

(地域医療支援病院：医療法第4条の算式による)

再掲

区分	平日時間内の 外来患者数(初診)		夜間・休日の 外来患者数(初診)		平日時間内の 入院患者数(初診)						夜間・休日の 入院患者数(初診)		小計	診療情報 提供料I	A 紹介患者 の数	B 救急患者 の数	C 初診患者の 数	紹介率 (%)		逆紹介率 (%)		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪+⑫	⑬+⑭						A+B C ×100%	前年度 実績	Y C ×100%	前年度 実績	
4月	626	529	44	500	38	16	54	34	36	71	36	71	1,948	1,005	798	105	1,448	62.4	51.9	69.4	60.9	
5月	603	429	62	632	29	15	43	27	36	90	36	90	1,966	1,039	773	117	1,334	66.7	55.7	77.9	61.9	
6月	769	578	37	462	28	18	48	25	34	78	34	78	2,077	1,103	916	103	1,615	63.1	51.6	68.3	49.8	
7月	713	636	54	604	32	21	56	30	48	90	48	90	2,284	1,121	903	120	1,680	60.9	49.6	66.7	47.8	
8月	691	701	34	630	32	11	53	34	32	103	32	103	2,321	1,100	842	137	1,691	57.9	44.7	65.1	46.6	
9月	674	546	40	536	22	11	56	35	35	90	35	90	2,045	1,059	827	125	1,509	63.1	52.4	70.2	48.9	
10月	629	563	29	538	29	6	56	37	40	88	40	88	2,015	1,070	783	125	1,477	61.5	53.8	72.4	53.6	
11月	642	564	32	568	34	10	57	31	33	95	33	95	2,066	1,187	798	126	1,498	61.7	56.9	79.2	59.8	
12月	665	561	49	635	30	11	59	34	44	91	44	91	2,179	1,224	847	125	1,544	63.0	59.1	79.3	72.5	
1月	551	502	52	612	35	12	48	36	35	102	35	102	1,985	1,094	721	138	1,373	62.6	62.4	79.7	76.7	
2月	568	497	35	512	35	10	59	25	31	81	31	81	1,853	1,101	728	106	1,341	62.2	62.8	82.1	78.5	
3月	671	559	57	547	34	12	58	37	45	92	45	92	2,112	1,373	865	129	1,565	63.5	64.1	87.7	84.5	
累計	7,802	6,665	525	6,776	378	153	647	385	449	1,071	449	1,071	24,851	13,476	9,801	1,456	18,075	62.3	54.9	74.6	60.6	
構成率	43.2%	36.9%	2.9%	37.5%	2.1%	0.8%	3.6%	2.1%	2.5%	5.9%	2.5%	5.9%	137.5%	74.6%	54.2%	8.1%						

1,834

◎承認要件の一部

-紹介患者中心の医療を提供していること

①紹介率80%以上(又は60%以上で承認後2年間で80%達成が見込まれる場合)

②紹介率60%以上かつ、逆紹介率30%以上

③紹介率40%以上かつ、逆紹介率60%以上

※ 紹介率算式 = 地域医療支援病院紹介率 = 紹介患者の数 ÷ 救急患者の数

※ 紹介患者の数 : 開設者と直接関係のない他の医療機関から紹介された患者の数(初診の患者に限る。また、紹介元である他の医療機関の医師からの電話情報により紹介先の医師が紹介状に転記する場合、及び他の医療機関等における検診の結果、必要とされた精密検診のための受診で、紹介状又は検査票等に紹介目的、検査結果等についてその記載がなされている場合を含む。)

※ 救急患者の数 : 緊急的に入院し治療を必要とした救急患者の数(初診の患者に限る。)*紹介患者との重複除く

※ 初診患者の数 : 初診患者の総数(当該病院が医療計画において位置付けられた救急医療事業を行う場合にあつては、当該救急医療事業において休日又は夜間に受診した救急患者の数【初診の患者に限る。また、緊急的に入院し治療を必要とした救急患者の数を除く。】を除く。)

※ 逆紹介率算式 : 逆紹介患者の数(診療情報提供料I) ÷ 初診患者の数

紹介率および逆紹介率の維持、または、さらに向上させるために

当院内にある志大医師会が運営する病診連携室とともに、平成21年度に新たに設置した「地域医療連携室」が中心となり、病診連携及び病病連携の充実を図っている。

- ・ 地域連携パスの利用を促進する。
- ・ 「地域医療連携運営委員会」及び「藤枝市立総合病院運営懇話会」において、今後も地域医療連携の強化をお願いしていく。

2 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)の実績

(1) 共同利用の実績

(共同利用を行った医療機関の延べ数)	平成22年度実績	907件
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		907件
(高度医療機器の共同利用を行った医療機関の延べ数)	平成22年度実績	29件
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		29件

注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

(2) 共同利用の範囲等

(診断機器)	①X線CT装置 ②磁気共鳴断層撮影装置 ③一般X線撮影装置 ④骨密度測定装置 ⑤X線断層撮影装置 ⑥CRシステム ⑦超音波断層装置 ⑧ホルター心電図装置
(設備)	①外来診察室 ②救急救命室 ③講堂 ④医局 ⑤研修室 ⑥第一会議室 ⑦各階カソプレナム ⑧臨床検査室 ⑨病理検査室 ⑩病棟
(その他の共同利用)	①外来診療への参加 ②入院診療への参加 ③手術への参加 ④病理解剖の受託
(受託検査)	①CT検査(単純撮影) ②MRI検査(単純撮影) ③骨密度測定 ④超音波検査 ⑤X線撮影 ⑥聴性脳幹反応検査(ABR) ⑦神経伝達速度検査(MCV・SCV) ⑧大動脈・脳波電播速度検査(PWV・ABI) ⑨心電図(12誘導) ⑩エコーグラフィ検査 ⑪脳波検査 ⑫ホルター心電図の解析 ⑬病理検査 ⑭ヘパラスチノグラム ⑮一般細菌検査 ⑯骨髄像検査(診断のみ) ⑰緊急検体検査 ⑱CRのデジタル処理 ⑲無呼吸症候群スクリーニングテスト

注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

(3) 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる 診療科	地域医療支援病 院開設者との経 営上の関係
別紙のとおり				

注) 同一の2次医療圏に所在地のある医療機関のみ記載してください。

常時共同利用が可能な病床数	12床
---------------	-----

NO.	氏名	法人名	医療機関名	所在地(住所)	診療科目
1	赤坂 秀樹	(医)社団 藤岡クリニック	藤岡クリニック	藤枝市藤岡2-1-5	内消小
2	秋山 敬	(医)社団 秋仁会	秋山医院	藤枝市本町3-2-24	外整リハ
3	秋好 龍彦	(医)社団 龍彦会	秋好医院	藤枝市大洲3-17-2	内傷消
4	浅川 建史	(医)社団 八洲会	藤和藤枝病院	藤枝市中/合26-1	内消胃腸精神内小
5	天野 肇	(医)社団 瑞祥会	あまの耳鼻咽喉科クリニック	藤枝市田中3-6-16	耳アシ
6	五十嵐 邦夫	(医)社団 邦彦会	五十嵐医院	藤枝市瀬戸新屋258-1	泌
7	井澤 明人		井澤医院	藤枝市大手1-4-15	内消
8	井澤 浩明		井澤内科クリニック	藤枝市本町2-8-30	内消
9	石川 亘巳		いしかわリハビリクリニック	藤枝市平島70-1	産婦
10	坂倉 清能		坂倉医院	藤枝市田沼4-2-25	内皮泌リハ内消胃
11	市川 真人	(医)社団 真正会	市川眼科医院	藤枝市藤枝4-7-28	眼
12	井上 二郎	(医)社団 仁生会	井上小児科医院	藤枝市岡出山1-8-12	小
13	入交 肇		入交医院	藤枝市大手2-6-19	内傷
14	吉下 方彰		いわしたクリニック	藤枝市上青島463-2	消内外整内
15	吉田 政敏	(医)社団 美穂会	岩田クリニック	藤枝市宗高字中川原1168-1	内呼アシ整リハ
16	大井 聡子		大井内科消化器科医院	藤枝市高洲41-9	内消
17	大塚 茂則	(医)社団 大岩内科医院	大岩内科医院	藤枝市高岡1-19-30	内消呼
18	大久保 明	(医)社団 大久保医院	大久保医院	藤枝市上小杉053-1	外消
19	大塚 寛	(医)社団 雄一会	大塚医院	藤枝市藤枝5-7-4	小内傷
20	小川 郁夫	(医)社団 聖徳会	介護老人保健施設クリニック入藤枝	藤枝市宮原420-1	内リハ
21	小川 淳	(医)社団 悠昌会	小川眼科医院	藤枝市本町2-6-1	眼
22	藤 知三		奥皮フ科医院	藤枝市駅前3-15-14	皮
23	尾田 篤実		おたクリニック	藤枝市上菱田字津田73-2	泌皮
24	小津 千佳	(医)社団 医達会	藤枝診療所	藤枝市高洲781	耳
25	香山 文美		香山婦人科クリニック	藤枝市永上319-2	婦
26	川口 吉紀	(医)社団 豊友会	川口内科	藤枝市八幡279-1	内消小
27	神戸 良夫	(医)社団 神戸整形外科	神戸整形外科	藤枝市宗高1497-2	整リハ
28	北川 元朗	(医)社団 高仁会	北川医院	藤枝市高洲62-7	泌内皮
29	木村 大輔	(医)社団 輔仁会	ふじえだ耳鼻咽喉科クリニック	藤枝市上菱田74-3	耳アシ
30	木村 敬		きむら眼科	藤枝市上新田829-1	眼
31	黒川 彰		黒川医院	藤枝市瀬戸新屋296-2	内
32	小谷 仁人		朝比奈診療所	藤枝市岡部町新舟314-5	内小
33	小林 正明		小林小児科	藤枝市前島1-14-21	小
34	近藤 匡	(医)社団 さとる会	近藤整形外科	藤枝市南新屋246-1	胃外肛
35	坂本 美子		坂本医院	藤枝市青南町4-4-13	皮
36	橋井 敦	(医)社団 7エスエフ子	橋井医院	藤枝市上新田829-3	内小
37	柴田 正純		柴田医院	藤枝市藤枝4-1-12	内呼消胃腸小神内皮
38	橋津 正宏	(医)社団 厚正会	しま整形外科	藤枝市高橋2-7-23	整リリハ
39	杉田 光	(医)社団 光儀会	杉田整形外科	藤枝市瀬戸新屋302-4	整リハ
40	杉浦 正司	(医)志太会	介護老人保健施設ユキワ岡部	藤枝市岡部町内谷1473-3	脳神内
41	杉村 久雄	(医)社団 リソルパ	すぎむらクリニック	藤枝市若王子3-5-29	内呼腎消
42	青ヶ谷 純弘	(医)社団 青ヶ谷内科	青ヶ谷内科医院	藤枝市堀之内1724	内胃小
43	鈴木 利昭		ななほリハビリクリニック	藤枝市前島3-8-40	産婦
44	鈴木 重栄	(医)社団 文仁会	鈴木内科医院	藤枝市茶町4-12-18	内
45	鈴木 英彦	(医)社団 鈴木リハビリクリニック	鈴木リハビリクリニック	藤枝市大洲4-12-15	産婦
46	鈴木 正之	(医)社団 すずき小児科医院	すずき小児科医院	藤枝市青葉町5-11-30	小アシ
47	須田 雄司	(医)社団 すだ医院	すだ医院	藤枝市築地241	精神科
48	高木 幸有		敬天堂医院	藤枝市岡出山1-7-21	外整皮泌内放
49	高橋 博	(医)社団 高橋医院	高橋医院	藤枝市下青島201-5	内

NO.	氏名	法人名	医療機関名	所在地(住所)	診療科目
50	高松 眞		高松整形外科	藤枝市岡田3-1-8	整形外科
51	田川 隆介	(財)静岡県予防医学協会	静岡県予防医学協会 総合健康センター	藤枝市善左衛門2-11-5	内(人間ドック)
52	濱井 泰弘		たきいクリニック	焼津市相川1215-2	小児科
53	多久島 民登		匡ハククリニック	藤枝市駅前1-5-17	整形外科
54	田熊 俊一		田熊どもクリニック	藤枝市瀬古2-6-18	小児科
55	竹内 俊明	(医)社団 聖隷会	聖隷ハートクリニック病院	藤枝市宮原676-1	心臓科
56	竹澤 英夫	(医)社団 青島北クリニック	青島北クリニック	藤枝市瀬古2-6-15	消化内
57	辻 義和		藤枝眼科クリニック	藤枝市青木2-4-20	眼科
58	洋野 正明	(医)社団 光明会	たもの眼科	藤枝市青葉町2-1-46	眼科
59	中江 清真	(医)社団 心のクリニック	心のクリニック	藤枝市駅前1-7-22	精神
60	西井 忍有	(医)社団 こころ会	西井胃腸科外科	藤枝市高柳2035-1	胃外科/消化内
61	鏡野 光浩		鏡野クリニック	藤枝市青葉町2-1-47	外消肛
62	西山 照正	(医)社団 西山クリニック	西山クリニック	藤枝市平島921-1	内産
63	丹羽 弘之		にわ医院	藤枝市藤岡1-15-11	内産婦小児科
64	野村 海海		ためま街道整形外科	藤枝市大新島707-1	整形外科
65	羽白 洸	(医)社団 平成会	介護老人保健施設アクト	藤枝市瀬戸新屋487-2	外科
66	畑 昌宏	(医)社団 まつや会	はた医院	藤枝市田中3-2-59	消化内
67	花岡 明宏	(医)社団 俊宏会	花岡医院	藤枝市岡部町内谷1740-4	胃外科
68	濱邊 卓也	(医)社団 藤葉会	はまへ整形外科	藤枝市上菟田74-1	整形外科
69	早川 恒幸	(医)社団 若朋会	高洲早川クリニック	藤枝市与左衛門428-2	内小児科
70	原田 昇		ハツタ城南医院	藤枝市田中3-6-17	内消外
71	平井 達夫	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	脳
72	平井 正孝	(医)社団 泉湧会	平井医院	焼津市上泉590	皮膚科
73	廣瀬 正和		ひろせクリニック	藤枝市駅前2-19-8	内
74	星野 正明	(医)社団 聖雄会	ほしのクリニック	藤枝市岡部町内谷850	消化内
75	塚本 昭夫		耳鼻咽喉科・気管支科 塚本医院	藤枝市駅前2-1-1	耳鼻科
76	松永 忠彦	(医)社団 涼瑞会	まつなが耳鼻咽喉科クリニック	藤枝市駅前2-3-8	耳鼻科
77	松村 剛		つばくら在住クリニック	藤枝市高柳1491-1	内消化
78	三倉 一彦	(医)社団 三倉医院	三倉医院	藤枝市五十海4-14-21	内小児科
79	水上 啓		水上内科クリニック	藤枝市高柳2-3-43	内消腸
80	水島 俊郎		水島医院	藤枝市青木3-4-10	内小
81	清口 勝美	(医)社団 運和会	藤枝藤府病院	藤枝市小石川町2-9-18	精神
82	藤原 善好		藤枝南クリニック	藤枝市前島2-2-20	整形外科
83	三宅 純一	(医)社団 隆純会	みやけ皮膚科	藤枝市前島2-17-1	皮膚科
84	宮原 健夫		みやはら内科クリニック	藤枝市小石川町1-7-20	内消小
85	三輪 一夫	(医)志大会	志大三輪医院	藤枝市岡部町内谷60-2	内消
86	村松 弘明	(医)社団 誠敬会	村松耳鼻咽喉科気管支道科医院	藤枝市高柳5-6-38	耳鼻科
87	毛利 博		藤枝市立総合病院	藤枝市駿河台4-1-11	消化内
88	持丸 純一郎	(医)社団 運和会	藤枝心療内科クリニック	藤枝市前島2-2-60ハートⅡ2F	心療科
89	森 英雄	(医)社団 泉成会	志大ENTクリニック耳鼻咽喉科	藤枝市大洲1-3-4	耳鼻科
90	八木 芳徳		八木医院	藤枝市本郷181	内
91	柳原 孝男		柳原内科医院	藤枝市藤岡4-488-103	内胃小児科
92	山崎 健司		山崎クリニック	藤枝市志太2-11-12	脳内神経
93	横山 克美	(医)社団 静浜会	横山消化器内科	焼津市下小杉385	内小
94	吉田 明広		よした整形形成外科医院	藤枝市小石川町4-1-20	整形美容
95	吉田 忍		吉田医院	焼津市利右衛門972-1	外内消
96	吉田 守	(医)社団 くぬぎ会	吉田クリニック	藤枝市大洲4-7-33	内消化
97	岡野 佳郎	(医)社団 聖隷会	聖隷ハートクリニック病院	藤枝市宮原676-1	消化
98	伊東 コウ次郎	(医)社団 藤岡クリニック	藤岡クリニック	藤枝市藤岡2-1-5	内

NO.	氏名	法人名	医療機関名	所在地(住所)	診療科目
99	久久保 真夫	(医)社団 久保医院	久保医院	浜津市上小杉853-1	外腎整
100	大持 一子	(医)社団 雄一診	大持医院	藤枝市藤枝5-7-4	内小
101	小津 龍一	(医)社団 医達会	藤枝診療所	藤枝市高洲781	耳
102	小津 龍一朗	(医)社団 医達会	藤枝診療所	藤枝市高洲781	耳
103	勝外 聖弘	(財)静岡県平野医学協会	(財)静岡県平野医学協会 総合健診センター	藤枝市善左衛門2-11-5	内
104	加藤 健次	(医)社団 八洲会	城和藤枝病院	藤枝市中ノ合26-1	内/A
105	加藤 高志	(医)社団 医達会	藤枝診療所	藤枝市高洲781	耳7
106	川口 洋子	(医)社団 健友会	川口内科	藤枝市八幡279-1	内小
107	楠山 敏行	(医)社団 医達会	藤枝診療所	藤枝市高洲781	耳
108	小林 梓子		小林小児科	藤枝市前島1-14-21	小
109	小林 博		小林小児科	藤枝市前島1-14-21	小
110	小山 明宏	(財)静岡県平野医学協会	静岡県平野医学協会 総合健診センター	藤枝市善左衛門2-11-5	放
111	坂野 義隆	(医)社団 聖徳会	聖徳リハビリテーション病院	藤枝市宮原676-1	整
112	坂本 瑛雄		坂本医院	藤枝市青南町4-4-13	内
113	櫻井 洋吉	(医)社団 7人クラブ	櫻井医院	藤枝市上新田829-3	内小
114	菅谷 純一	(医)社団 菅谷内科	菅谷内科医院	藤枝市堀之内1724	内小
115	高木 史伊子		敬天堂医院	藤枝市岡出山11-7-21	内
116	高松 晃		高松整形外科	藤枝市岡出山13-1-8	整
117	田中 賢司	(医)社団 凜和会	藤枝駿府病院	藤枝市小石川町2-9-18	精
118	早川 直美	(医)社団 若朋会	高洲早川クリニック	藤枝市与左衛門428-2	小皮
119	松田 義夫		錦野クリニック	藤枝市青葉町2-1-47	外海外
120	三輪 健	(医)志太会	志太三輪医院	藤枝市岡部町内谷60-2	内小泌
121	村松 弘	(医)社団 健源会	村松耳鼻咽喉科気管食道科医院	藤枝市藤枝5-6-38	耳気
122	八木 健安		八木医院	藤枝市本郷181	内
123	八木 誠	(医)社団 八洲会	城和藤枝病院	藤枝市中ノ合26-1	内/A
124	葉山 靖	(医)社団 静浜会	葉山消化器内科	藤津市下小杉385	内消
125	井戸 邦雄	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	放
126	上野 学	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	泌
127	小原 啓子	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	眼
128	小原 弘嗣	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	外心
129	小林 勇人	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	整
130	坂井 敬三	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	内
131	櫻井 雅和	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	整
132	高橋 敏行	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	整
133	橋爪 和弘	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	整
134	渡多野 学	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	整
135	服部 夏樹	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	整
136	花北 順哉	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	整
137	海上 賢二郎	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	内
138	増田 靖彦	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	外
139	水野 晋二	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	放
140	宮崎 英隆	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	内
141	山本 直治	(医)社団 平成会	藤枝平成記念病院	藤枝市水上123-1	放

NO.	氏名	医療機関名	所在地(住所)	診療科目
1	鈴木 喜一郎	おさひ歯科	前島1丁目4-6	歯科
2	新井 康元	フコク歯科	鬼島536-2	歯科
3	秋庭 敬	あふみ歯科	高柳1557-16	歯科
4	石川 芳次	イシカワ歯科	瀬古2丁目4-8	歯科
5	猪熊 健一	いのき歯科・矯正歯科	青木2丁目3-18	歯科
6	猪股 健二	いのまた歯科医院	仮宿1334-1	歯科
7	大石 和久	おおいし歯科医院	立花2丁目6-6	歯科
8	大橋 謙男	おおいし歯科医院	水守369-5	歯科
9	佐久間 祥光	さくま歯科	田沼3丁目6-5	歯科
10	大橋 秀巳	スーパースペシャル・オプス	菅羽町2丁目14-12	歯科
11	浅本 雅巳	セントラル歯科	五十海4丁目14-13	歯科
12	中原 邦秀	パール歯科医院	大東町446	歯科
13	長谷川 風康	はせがわ歯科	益津F55-1	歯科
14	高橋 裕子	ひこ歯科	高瀬78-28	歯科
15	福田 傑	ふた歯科医院	青葉町3丁目15-7	歯科
16	斎藤 光輝	ふたば歯科	瀬戸新屋144-2	歯科
17	池谷 祐	ホクト歯科クリニック	築地314-4	歯科
18	望月 誠	モチツキおさひ歯科クリニック	岡部町内谷964-8	歯科
19	山本 竜	やまもと歯科	東町1-20	歯科
20	青島 孝之	青島歯科医院	田沼4丁目21-23	歯科
21	浅井 真	浅井歯科医院	瀬岡1丁目4-25	歯科
22	井口 茂樹	井口歯科	駅前3丁目15-8	歯科
23	井口 美樹	井口歯科医院 駅前診療所	前島3丁目4-1	歯科
24	井澤 輝之	井澤歯科医院	田沼1丁目8-5	歯科
25	岡 寛一郎	岡歯科医院	大洲4丁目14-10	歯科
26	岡野 喜九郎	岡野歯科医院	志太4丁目3-13	歯科
27	岡本 康雄	岡本歯科医院	岡部町内谷948-11	歯科
28	小澤 成之	小澤歯科医院	瀬古2丁目22-23	歯科
29	加茂 直久	加茂矯正歯科医院	田沼3丁目4-1	歯科
30	河野 吉紀	河野歯科医院	与左衛門468-1	歯科
31	岸村 真澄	岸村歯科医院	部1132	歯科
32	後藤 尚明	後藤歯科医院	本町2丁目2-25	歯科
33	後藤 美登保	後藤歯科医院	天王町3丁目2-1	歯科
34	森原 伸吉	桜フコククリニック	平島1434-5	歯科
35	井澤 雅博	駿河台井澤歯科	駿河台2丁目1-6	歯科
36	竹中 寛	竹中歯科医院	高洲1丁目17-5	歯科
37	望月 祥和	時々谷歯科クリニック	時々谷399-3	歯科
38	徳田 秀雄	徳田歯科医院	清里1丁目1-1	歯科
39	鳥居 伸一	鳥居歯科医院	大東町1038	歯科
40	永井 隆治	永井歯科クリニック	瀬岡5丁目20-4	歯科
41	中村 収	中村歯科医院	大宇2丁目8-1	歯科
42	後藤 重章	新舟歯科診療所	岡部町新舟字上114-1	歯科
43	二宮 信彦	二宮歯科医院	岡部町内谷58	歯科
44	服部 治	服部歯科医院	菅羽町3丁目2-18	歯科
45	原 慎幸	原歯科医院	大洲2丁目6-8	歯科
46	小杉 正明	藤枝歯科	築地522-2	歯科
47	細井 雅晃	細井歯科	高瀬48-26	歯科
48	松下 求	松下歯科医院	高瀬3丁目25-15	歯科
49	溝越 俊二	溝越歯科医院	上裏田13-10	歯科
50	村松 史盛	緑の森歯科	岡出山1丁目7-19	歯科
51	村松 英昭	村松歯科医院	本町2丁目1-39	歯科
52	森永 泰信	森永歯科医院	高柳2丁目7-29	歯科
53	八木 謙二	八木矯正歯科医院	青葉町2丁目1-57	歯科
54	若林 秀典	若林歯科医院	水上116-1	歯科
55	和田 雅之	和田歯科医院	駅前2丁目4-21	歯科
56	桑沢 雅和	桑沢歯科医院	益津市下江副1714	歯科
57	健石 英夫	平成記念病院 歯科	水上123-1	歯科

No.	氏名	医療機関名	所在地(住所)	診療科目
1	強口 秀明	アイ・アイ・スクリニク	焼津市坂本457	産婦人
2	赤根 彰夫	あかほりクリニック	牧之原市片浜873-2	内・小・産婦・女性内
3	向山 輝夫	旭医院	焼津市北新田396-1	内・小・アレルギー
4	天野 滋	天野医院	焼津市石津7	産・泌
5	石井 英正	石井内科皮膚科医院	牧之原市静波248	内・小・産・婦
6	石川 英也	石川医院	焼津市田原1720	内・小・胃・小
7	伊東 和樹	伊東クリニック	焼津市栄町2-2-21	内・消
8	伊東 良文	伊東クリニック	牧之原市坂部3942-1	内・小・外
9	内田 龍哉	内田医院	牧之原市新庄30-1	内・小・外
10	遠藤 翼治	えんどうどもクリニック	牧之原市細江1495-2	小
11	大井 俊孝	大井胃腸科外科医院	焼津市三右衛門新田646	胃・外
12	大下 節男	大下医院	川根本町下長尾219-1	内・小
13	谷口 芳子	大住眼科医院	焼津市大住1065	眼
14	岡野 博一	岡野内科医院	吉田町住吉379-1	内・呼吸・胃・腸・小
15	織田 孝裕	織田医院	島田市金谷1997	内・小・産
16	春日 英昭	かすかた科胃腸科医院	焼津市小川新町3-3-19	胃・外
17	片岡 士郎	片岡医院	島田市本通7-769	内・消・産・放射線
18	藤見 哲介	藤見耳鼻咽喉科医院	島田市本町3-7-1	耳・アレルギー
19	金井 泰貴	金井整形外科	焼津市大村2-10-9	産・小・外・リウマチ
20	金山 貴子	かみやま眼科医院	島田市道悦4-22-37	眼
21	金子 佳雄	金子医院	島田市旭3-3-24	産・泌
22	加納 裕	加納医院	島田市牛尾471-2	内・産・小
23	神川 隆	神川整形外科医院	島田市本通1-4689-1	外・産・小
24	渋谷 幸夫	上長尾診療所	川根本町上長尾915-5	内・消・産
25	川田 洋一郎	川田医院	吉田町住吉2444	内・小・外
26	北村 明	北村医院内科・眼科	静岡市美区一番町9	内・消・眼
27	山下 健一	ケンどもクリニック	島田市岸町250	小
28	塚本 秀紀	小石川内科クリニック	焼津市栄町1-2-3	内・呼・アレルギー
29	小井土昭二郎	小井土クリニック	焼津市焼津4-10-4	内・胃・小・外・肛門・小・アレルギー
30	高松 敏三	高松産婦人科医院	焼津市東小川13-2-17	産婦人
31	大川 雅龍	こどもクリニックおかわ小児科	吉田町神戸2001-2	小
32	小長谷 稔	小長谷内科消化器科医院	焼津市栄町6-4-30	内・消
33	齊藤 剛秀	さいとう内科クリニック	藤枝市高柳1295-2	内・神内
34	酒井 丈夫	さかい耳鼻咽喉科医院	吉田町片岡1753-12	耳
35	酒井 英則	酒井内科医院	牧之原市地頭方1-153-2	内・消
36	佐故 忍治	佐故医院	牧之原市静波461-1	内・胃・外・小
37	藤光寺 哲	藤光寺医院	御前崎市白羽243-3	内・小・消
38	佐藤 玄洲	佐藤医院	焼津市田尻1647	内・小・産
39	藤井 輝行	さわし医院	焼津市栄町2-9-18	外・産婦外・小
40	藤崎 弘一	しのぎ消化器科・内科医院	島田市元島田210-4	内・消
41	藤原 弘光	しのはら産科婦人科医院	島田市岸町658-1	産婦人
42	柴田 清子	柴田眼科	焼津市西小川112-8-3	眼
43	西山 輝弘	島田西山医院	島田市南1-6-8	内・小・産
44	杉本 俊彦	すぎもと耳鼻咽喉科クリニック	島田市金谷河原931	耳鼻・アレルギー
45	杉山 修一	杉山整形外科医院	焼津市西小川4-3-4	産・小・外・リウマチ
46	鈴木 俊作	鈴木医院	島田市川根町家山345-1	内・小・産
47	鈴木 直輔	鈴木内科医院	島田市道悦4-11-12	内・消・産
48	鈴木 文彦	鈴木内科医院	川根本町徳山826-1	内・神内
49	千 正嗣	千内科クリニック	吉田町神戸2067-10	内・神内

No.	氏名	医療機関名	所在地(住所)	診療科目
50	高木 利昌	高木医院	鳥田市身成328-1	内・小・呼・備・消
51	高木 平	高木内科医院	牧之原市静波900	内
52	田形 雅通	田形内科医院	牧之原市片浜1084-2	内・心内・小・ウハ
53	高橋 智彦	高橋内科医院	焼津市焼津1-9-5	内・備
54	田嶋 健	田嶋クリニック	吉田町神戸24-15	内・外・脳神経
55	立花 昭生	立花クリニック	焼津市五ヶ堰之内779	内・呼・アレルギー
56	谷口 正和	谷口整形外科医院	焼津市小屋敷192	整・ウハ・ウケ子
57	玉井 秀樹	玉井整形外科医院	牧之原市細江3206-1	整・ウハ
58	辻 輝康	辻医院	鳥田市大草601-1	胃・外・麻酔
59	徳山 博士	徳山整形外科	吉田町片岡1954-11	整
60	美崎 文彦	美崎内科クリニック	焼津市栴直馬603-4	内・備
61	中原 雅雄	中原クリニック	鳥田市日之出町4-8	泌
62	林 隆博	西焼津こどもクリニック	焼津市西焼津32-8	小皮
63	稲田 健	はいばら泌尿器科クリニック	牧之原市静谷575-1	泌
64	馬山 忍	馬山クリニック	焼津市東小川18-6-15	内・呼・アレルギー
65	岡西 紀彦	切敷クリニック	鳥田市南原85-1	内・アレルギー・耳・気管食道
66	竹田 カ	はなみずき通りクリニック	鳥田市旗指449-2	内・呼・消・備・アレルギー・小
67	平井 利幸	平井医院	鳥田市谷谷1945	内・外・消
68	廣瀬 尚子	廣瀬医院	牧之原市相良174-1	内・呼・胃・備・小・外・整・肛門
69	相羽 英彦	瀬井医院	鳥田市岸町667	内・小・備
70	片山 雄一	富士7Mビル餅吉田南工場健康管理室	吉田町川尻4000	内
71	藤本 茂也	藤本クリニック	牧之原市細江4436-1	内・備
72	藤本 義彦	藤本外科医院	鳥田市南原266	胃・外・整・泌・整・肛門
73	藤原 将登	藤原整形外科	牧之原市地頭方220-1	内・整・ウハ
74	古川 洋	古川医院	焼津市中根新田48	内・小
75	堀口 倫博	堀口外科医院	牧之原市大沢617-1	呼・胃・外・整・肛門
76	倉田 短正	本川根診療所	川根本町千頭1147-1	内・小
77	本多 正直	本多小児科医院	焼津市大柴町2-1-5	小
78	前田 津紀夫	前田産科婦人科医院	焼津市小屋敷214-1	産・婦人
79	牧野 克巳	牧野耳鼻咽喉科医院	鳥田市向鳥町4535-2	耳・アレルギー
80	藤澤 信子	又次クリニック	吉田町川尻1409-1	内・小・整・矯歯
81	松永 和彦	松永医院	鳥田市東町1120-2	内・胃・小
82	丸山 誠二	丸山歯科医院	焼津市相川1061-1	歯科
83	水野 肇	水野医院	鳥田市大楠南107	内・備・小・ウハ
84	柳澤 英雄	みどりのクリニック	焼津市中里70	内・神経
85	三輪 真一郎	三輪クリニック	吉田町片岡299-1	内・胃・備・小・泌
86	本柱 宏治	焼津駅前眼科	焼津市駅北1-2-3	眼
87	原田 隆文	焼津こがわ眼科	焼津市東小川12-15-4	眼
88	宮下 弘	やい6丁目耳鼻咽喉科	焼津市焼津6-7-35	耳・気管食道
89	八木 健	八木医院	鳥田市低園町8725-29	内・呼・備内
90	黄永 信理	八幡耳鼻咽喉科	焼津市八幡309-2	耳
91	山内 英士	山内医院	焼津市石津港町35-14	内・小・皮・放射
92	山下 えり子	山下内科医院	焼津市本町2-12-8	内・小
93	橋本 俊文	山の手クリニック	焼津市蘭方22-4	内
94	吉置 彰一	おとみクリニック	鳥田市中央町18-2	胃・外・肛門・乳腺外
95	シヤード カル	シヤード医院	鳥田市元鳥田9311-10	外・呼・備
96	坂垣 幹二	六合整形外科	鳥田市道悦2-25-3	整・ウハ
97	渡辺 善亮	渡辺内科医院	牧之原市大沢329-1	内・呼・胃・小・皮
98	西田 教生	おたけクリニック	焼津市与惣次102	内・小
99	陸 孝太郎	理美医院	牧之原市波津1-41-1	内・呼・胃・備・小

No.	氏名	医療機関名	所在地(住所)	診療科目
100	石川 徹也	石川整形外科リウマチクリニック	焼津市小柳津210	リウマチ・整・リハ
101	石川 孝	いしかわ皮膚科・アレルギ一科	焼津市西小川4-10-1	皮膚・アレルギー
102	石田 邦夫	石田医院	焼津市瀬戸3-16-25	内・皮膚・婦人
103	上村 紀元	上村医院	焼津市柳屋825	内・神内・消・循
104	大井 雅俊	大井皮膚科医院	焼津市焼津5-3-5	皮膚
105	加藤 紀彦	おとみクリニック整形外科	焼津市中新田1-1	整・リハ・リウマチ
106	鈴木 徹	おたるり眼科クリニック	焼津市南1-5-10	眼
107	加藤 寿夫	加藤内科医院	吉田町住吉303-1	内・胃・循
108	久保田 友之	さくらファミリークリニック	焼津市三ツ合町159-5	内・小・循
109	黒山 弘之	志太記念脳神経外科	焼津市小柳津371-1	循。脳神経外
110	黒岡 志郎	黒岡内科	焼津市西小川4-12-3	内
111	仲神 久登	仲神医院	焼津市中新田85-5	内・小・耳
112	長倉 孝行	長倉整形外科	焼津市三ヶ名177	リウマチ・整・リハ
113	米田 正弘	よねだクリニック	焼津市宮川町2473-1	内・消
114	林 健太郎	林医院	焼津市川根町栗山544-1	内・小・外・婦人

3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	4,416人 (1,773人)
上記以外の救急患者の数	13,472人 (2,444人)
合計	17,888人 (4,217人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

別紙のとおり

(2) 研修の実績

研修者数	82回実施 延参加人数 2,428人
------	--------------------

注) 前年度の研修生の実績を記入すること。

(1) 研修の内容

(平成22年度において実施した講演会など) 82回実施 延参加人数 2,428名

[第175回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年4月5日 (月)

総説「感染性心内膜炎の診断と治療」循環器科 阿部 信

学会発表「当院救急外来で経験した低体温症の数例」研修医 櫻井 恵一

トピックス「胸腹部大動脈瘤の診断と治療」心臓血管外科 鈴木 一周

[第176回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年5月10日 (月)

学会発表CPC「54歳女性」膠原病リウマチ科 金本 素子

CPC「75歳男性」外科 姜 建宇

[第177回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年6月7日 (月)

総説「緊急のIVR PartⅡの10年を振り返って」放射線診断・治療科 五十嵐 達也

学会発表「大量の飲酒・喫煙を背景とした狭心痛を有する49歳女性の一例」

研修医 中嶋 香児

トピックス「小児の虐待」小児科 伊東 充宏

[第178回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年7月12日 (月)

特別講演「眼科領域の最近の話題」京都府立医科大学 教授 木下 茂

[第179回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年9月6日 (月)

総説「緩和ケアを通じて考える“意味”について」緩和ケア科 吉野 吾朗

学会発表「関節リウマチ長期経過中に胸水貯留を来した一例」研修医 杉村 遼太

トピックス「絞扼性イレウス:CT、超音波上の特徴」外科 星川 真有美

[第180回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年10月4日 (月)

学会発表CPC「57歳男性」救急研修医 伊藤 敏谷

CPC「86歳女性」消化器科 大島 明彦

[第181回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年11月1日 (月)

総説「救急外来での薬物中毒 中毒学会標準診療ガイドに沿って」総合内科 野末 則夫

学会発表「慢性膿胸内瘻形成に伴い顕在化した肺結核再燃一例」研修医 水谷 浩哉

トピックス「非常に難渋した2例 T細胞リンパ腫、EB-VAHS」

血液内科 田邊 寿一

[第182回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成22年12月6日 (月)
総説「骨折の治療について」整形外科 伊藤 禎志
学会発表「並存疾患の診断と治療に難渋した慢性偽性腸閉塞の一例」
研修医 半谷 まゆみ
ピットコール「顔面外傷の初期治療」形成外科 森田 勝

[第183回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成23年1月17日 (月)
総説「前立腺癌」泌尿器科 青木 雅信
学会発表「多彩な臨床症状を呈した顕微鏡的多発血管炎の一例」研修医 半谷 匠
トピックス「若年者の脳出血」脳神経外科 航 晃仁

[第184回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成23年2月7日 (月)
特別講演「症状からみた神経疾患：頭痛」浜松医科大学第一内科 教授 宮嶋 裕明
[第185回藤枝学術カンファレンス] (志大医師会共催) 平成23年3月7日 (月)
学術発表CPC「83歳男性」外科 金丸 仁
学会発表「薬剤性肝障害を契機に診断された自己免疫性肝炎の一例」研修医 樋口 俊恵
「アスカソフ」意識障害、痙攣重積で入院し、死亡した2例
総合内科 小林 大樹、総合内科 野末 則夫

[心疾患症例検討会] (志大医師会共催)
平成22年4月8日 (木)、6月10日 (木)、10月14日 (木)、12月9日 (木)、
平成23年2月10日 (木)
循環器科 渡邊 明規

[神経症例検討会] (志大医師会共催)
平成22年5月17日 (月)、7月26日 (月)、9月13日 (月)、
平成23年1月24日 (月)、3月14日 (月)
脳神経外科 角谷 和夫、神経内科 中村 智、
藤枝平成記念病院 脳神経外科 橋爪 和弘

[乳がん症例検討会] (志大医師会共催)
平成22年6月15日 (火)、9月14日 (火)、12月14日 (火)
臨床検査科 金丸 仁

[消化器症例検討会] (志大医師会共催)
平成22年5月25日 (火)、11月9日 (火)
消化器科 丸山 保彦

「胃がん・大腸がん発見症例検討会」(志大医師会共催)

平成23年3月18日(金)

消化器科 丸山 保彦、外科 姜 建宇

「地域連携クリニカルパス説明会及び検討会」

平成22年8月26日(木)

「志大榛原脳卒中地域連携パスの現状と課題」8A病棟看護師 森田 恭子

「大腿骨頸部骨折地域連携パスの現状と課題」整形外科 鈴木 重哉

「回復期病院からの現状と課題」聖陵リハビリテーション病院 整形外科 坂野 義隆

「泌尿器科領域における地域連携パスについて」泌尿器科 平野 恭弘

「がん疾患地域連携パス運用報告」地域医療連携室 藪崎 史子

「狭心症・心筋梗塞の地域連携パスについて」循環器科 渡邊 明規

「第1回地域医療連携研修会」在宅医療について考える

平成22年9月2日(木)

「介護保険制度のはやわかり」

(株)日本ケアアサライ 情報セキュリティ推進室 室長 吉良 操

「当院の在宅療養支援について」患者相談室看護師 青嶋 久子

「第2回地域医療連携研修会」在宅医療について考える

平成22年10月7日(木)

「介護保険と個人情報について」

(株)日本ケアアサライ 情報セキュリティ推進室 室長 吉良 操

「訪問診療『よもやま話』」地域医療連携センター 甲田 証

「第3回地域医療連携研修会」在宅医療について考える

平成22年11月4日(木)

「実例で学ぶ医療と介護」

(株)日本ケアアサライ 情報セキュリティ推進室 室長 吉良 操

「緩和ケアと在宅医療」緩和ケア科 吉野 吾朗

「第4回地域医療連携研修会」施設入所者・在宅サービス利用患者の救急受診を考える

平成23年2月8日(木)

「当院の現状」副院長 横山 日出太郎

「救急でアースタッチする医師の立場から」心臓外科 石神 直之

「当院の救急受診時のお願い」地域医療連携室看護師 田森 真弓

「救急師長の立場から(実際のケースより)」救急治療室看護師 實石 光歩

[臨床研修医症例発表会]

平成22年4月22日(木)

「脳内出血にて診断されたグリオブラストーマの一例」研修医 櫻井 恵一
「感染症診療のロジック2010」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成22年5月27日(木)

「前胸部膿瘍、腸腰筋膿瘍から血管炎を来した例」研修医 小林 大樹
「抗菌薬のOverview」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成22年6月24日(木)

「ステロイド服用中に発症したニューモシスチス肺炎の一例」研修医 天野 雄介
「救急外来でよくみる感染症」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成22年7月22日(木)

「脳内出血にて診断されたグリオブラストーマの一例」研修医 熊谷 淳之
「日常生活における検査データの解釈」聖隷浜松病院 米川 修

平成22年8月26日(木)

「S状結腸憩室炎から門派血栓症と肝膿瘍を来した一例」研修医 伊藤 敏谷
「救急外来でよくみる感染症」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成22年9月30日(木)

「右季肋部痛を契機に発見された肝原発性悪性リンパ腫の一例」研修医 徳田 裕二
「院内肺炎の診療」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成22年10月28日(木)

「来院時検査所見が非典型的であった急性冠症候群の一例」研修医 滝澤 慶一
「抗菌薬のOverview その2」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成22年11月25日(木)

「Lansoprazoleが原因と考えられたcollagenous colitisの2例」研修医 板橋 耕太
「ターナー女性の健やかな成長のために」
「ターナー女性の成長を守るための適切な診断と治療」小児科 香川 二郎

平成22年12月2日(木)

「ラクトフェリンV150による急性肝障害を来した一例」研修医 樋口 俊恵
「経口抗菌薬の使い方」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成23年1月27日(木)

「急性大動脈解離の一例」～当院における急性大動脈解離の症例の集計～

H21.1.1～H22.12.31～ 研修医 藤澤 まどか

「抗菌薬治療の効果判定」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成23年2月24日(木)

「抗生剤治療抵抗性肺炎の一例」研修医 廣瀬 佳菜

「真菌性感染」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成23年3月3日(木)

「急性胆嚢炎に肝仮性動脈瘤を合併した一例」研修医 半谷 匠

「多剤耐性グラム陰性桿菌」県立がんセンター 大曲 貴夫

【志太・榛原地域リハビリテーション・セミナー】

平成22年10月9日(土)

「高齢者の口腔ケア」歯科衛生士 塚本 敦美

平成22年11月13日(土)

「脳の仕組みからみたリハビリテーション」

松戸市病院事業管理者・浜松医科大学名誉教授 植村 研一

【放射線勉強会】

平成22年9月17日(金)

「320列CTによるこれからの検査」放射線科 濱口 佳史

【志太榛原病理検査懇話会】

平成22年6月29日(火)

「日本臨床細胞学会事後発表」

平成22年10月26日(火)

【CISHについて】

平成23年2月22日(火)

「日本臨床細胞学会事後発表」

症例検討「胸水、肉腫型中皮腫の1例」

[看護部研修会]

平成23年2月28日(月)

看護部研究発表会「9題口説発表15示説発表」

[平成22年度がん看護コース 基礎編]

平成22年5月7日(金)

「腫瘍学」(基礎編)緩和ケア科 吉野 吾朗

平成22年6月4日(金)

「抗がん剤を取り扱う上での被爆予防」がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

平成22年7月2日(金)

「抗がん剤の血管外漏出の予防と対策、嘔気・嘔吐について」

がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

平成22年8月5日(木)

「がんの痛みの特徴とアセスメントについて」緩和ケア認定看護師 佐々木 久美

平成22年10月1日(金)

「がん患者の疼痛緩和の実際」緩和ケア認定看護師 佐々木 久美

平成22年11月5日(金)

「がん性創傷について」皮膚・排泄ケア認定看護師 水島 史乃

平成22年12月10日(金)

「がん患者の排泄ケア(ストロー・失禁)について」

皮膚・排泄ケア認定看護師 水島 史乃

平成23年1月7日(金)

「乳がん・肺がんについて」手術看護認定看護師 中山 龍二

平成23年2月4日(金)

「胃がん・直腸がんについて」手術看護認定看護師 中山 龍二

平成23年3月18日(金)

「消化器がんの化学療法」～副作用とその対処～レジメについて

消化器内科医長 森 雅史

[平成22年度がん看護コース 応用編]

平成22年5月28日(金)

「腫瘍学(応用編)」緩和ケア科 吉野 吾朗

平成22年6月25日(金)

「肺がんの疫学」呼吸器内科 板谷 徹

平成22年7月30日(金)

がん看護eセミナー ～化学療法を中心に～

「非小細胞がんの薬物療法」～最新の治療動向と看護～

四国がんセンター <中継> 野上尚之医師、宮部恵子看護師ほか

平成22年8月27日(金)

「看護師さんのための放射線治療」放射線科 松下 直樹

平成22年9月24日(金)

「外来化学療法センターでのミキシング作業について」

化学療法センター専任薬剤師 森下 智香子

「外来化学療法センターでの点滴管理について」

がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

平成22年10月22日(金)

家族ケア「死に直面している患者を持つ家族について」臨床心理士 佐藤 亜貴子

平成22年11月26日(金)

DVD鑑賞 緩和ケアチームー2009

「スピリチュアルケア」～治療を続けることに迷いのある患者への対応～

がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

緩和ケア認定看護師 佐々木 久美

平成22年12月24日(金)

「化学療法中の栄養管理」がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

事例発表相談 皮膚・排泄ケア認定看護師 水島 史乃

がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

緩和ケア認定看護師 佐々木 久美

平成23年1月28日(金)

事例発表「初回外来化学療法センターに来院時無表情だった患者との関わり」

外来化学療法センター看護師 秋山 真理子

「受診行動がとれていなかった患者との関わりを振り返る」

外科外来看護師 佐藤 優子

平成23年2月25日(金)

事例発表「ADL拡大に時間を要した患者との関わりを振り返る」

6階A病棟看護師 秋山 祐子

「終末期にある患者との関わりを通じて『その人らしさ』について考える」

7階A病棟看護師 小林 純子

「余命1年と言われた患者との関わりを振り返る」

6階B病棟看護師 石川 達也

平成23年3月25日(金)

事例発表「看護師に伝わらなかった苦痛をもった患者への看護介入」

6階A病棟看護師 飯塚 計江

「緩和期にある患者との関わりから『がんのリハビリテーション』の意味を学ぶ」

7階B病棟看護師 河竹 美香

「余命半年と告知された患者の葛藤状態における関わりについて振り返る」

7階B病棟看護師 鈴木 みどり

「新生児蘇生法」専門」コース講習会」

平成22年4月15日(木)、5月19日(水)、6月24日(木)、7月14日(水)、

8月18日(水)、9月22日(水)、10月21日(木)、

平成23年3月30日(水)

「藤枝アレホスピタルカンファレンス」

平成22年12月15日(水)

「3名体制での現場における突然のCPA症例～救急隊編～」

「交通事故現場に看護師が居合わせた症例(高エネルギー外傷)」

「外傷におけるフイジカルアセスメントセミナー」

「第3回藤枝市立総合病院緩和ケア研修会」

平成22年7月18日(日)、19日(月・祝)

緩和ケア科 吉野 吾朗、心療内科・精神科 福島 一成、呼吸器内科 津久井 賢、

焼津市立総合病院 小平 誠

(講師の派遣)

[藤枝薬剤師会支部研修会] (第一三共主催)

平成22年4月28日(水)

演題「理想的な降圧治療とは～JSH2009を中心として～」循環器科 渡辺 明規

[第34回静岡県放射線技師会アソギオ部会研修会] (静岡放射線技師会主催)

平成22年6月12日(土)

演題「コーンビームCTの使用経験」放射線科 杉本 直行

[第10回循環器疾患のタベ] (焼津市医師会、ノバルティスファーマ共催)

平成22年6月24日(木) 循環器科 渡辺 明規

[藤枝・焼津脳梗塞治療セミナー] (サノフイ・アベンチス主催)

平成22年7月9日(金) 脳神経外科 航 晃仁

[第5回静岡県消化器癌研究会学術講演会] (サノフイ・アベンチス主催)

平成22年7月24日(土)

演題「進行食道癌にCRTでCR後、発生した0-IIa+IIb型basaloid carcinoma に対し

ESDを行った一例」消化器科 丸山 保彦

[第3回静岡市立静岡病院緩和ケア研修会] (静岡市立静岡病院主催)

平成22年7月31日(土)、8月1日(日) 緩和ケア科 吉野 吾朗

[第5回アソモグラフィ読影ワークショップ講座 in 静岡]

(静岡市静岡医師会、清水医師会、アストラゼネカ共催)

平成22年8月28日(土)

演題「アソモグラフィの読影～石灰化」放射線診断・治療科 五十嵐 達也

[志太医師会学術講演会]

平成22年9月10日(金)

「早期アルツハイマー型認知症診断ツールVSRADについて」放射線科 鈴木 康一郎

[第13回静岡小児内分泌研究会] (静岡内分泌研究会、日本イソライリン共催)

平成22年9月11日(土) 小児科 中野 栄治、香川 二郎

[第2回焼津市立病院緩和ケア研修会] (焼津市立病院主催)

平成22年10月10日(日)、11日(月)

緩和ケア科 吉野 吾朗、心療内科・精神科 福島 一成、呼吸器内科 津久井 賢、
緩和ケア担当看護師 佐々木 久美

[第4回気管挿管・薬剤投与講習] (静岡県消防学校主催)

平成22年10月15日(金) 麻酔科 高橋 健二

[志大医師会CT勉強会]

平成22年10月20日(金) 放射線科 杉本 直行

[呼吸器専門看護研修会] (静岡富士病院主催)

平成22年10月25日(月)

演題「緩和ケアについて」緩和ケア担当看護師 佐々木 久美

[第10回静岡県X線モグラフィ講習会]

(静岡県X線モグラフィ講習会開催実行委員会主催)

平成22年11月5日(金)、6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)

放射線診断・治療科 五十嵐 達也

[第6回X線モグラフィ読影カラオケアップ講座 in 静岡]

(静岡市静岡医師会、アストラゼネカ共催)

平成22年12月4日(土)

演題「X線モグラフィの読影～腫瘍」放射線診断・治療科 五十嵐 達也

[感染対策に関する研修会] (志大医師会主催)

平成22年12月21日(火)

演題「医療安全対策について」感染対策室 石野 弘子

[感染対策に関する研修会] (志大医師会主催)

平成23年1月14日(金)

演題「感染対策について」感染対策室 石野 弘子

[MRI部会・X線モグラフィ部会研修会] (静岡県放射線技術師会主催、バイエル薬品共催)

平成23年2月12日(土) 放射線科主幹兼超音波係長 北川 敬康

(3) 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 有 無

(2) 研修委員会設置の有無 有 無

(3) 研修指導者

H23. 3. 31現在

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
毛判 博	医師	血液内科	院長	35年	日本内科学会認定医
池谷 健	医師	小児科	副院長	32年	ICD制度協議会ICD
香川 二郎	医師	小児科	副院長	32年	教育責任者 専門(小児疾患)指導医養成講習会受講済 日本小児科学会専門医 日本内分科学会専門医・指導医
横山 日出太郎	医師	外科	副院長	33年	日本外科学会認定医・指導医
関谷 洋	医師	呼吸器外科	診療部長	30年	日本外科学会認定医 日本呼吸器外科学会指導医・専門医 日本胸部外科学会認定医
丸山 保彦	医師	消化器科	第一診療担当部長	22年	日本内科学会指導医・専門医・認定医 消化器内視鏡学会指導医・専門医・東海支部 部評議員 日本消化器学会指導医・専門医・東海支部 議員 日本消化管学会胃腸科専門医 日本がん治療認定医機構認定教育医・がん治療 認定医 医学博士
石神 直之	医師	心臓外科	第二診療担当部長	30年	日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本胸部外科学会認定医 心臓血管外科専門医 日本心臓血管外科学会国際会員
五十嵐 達也	医師	放射線診断 ・治療科	第三診療担当部長	21年	日本医学放射線学会専門医 日本超音波医学会専門医・指導医 日本乳癌学会認定医 日本がん学会がん診療連携推進委員会専門医 がん診療連携推進医

高山 眞一	医師	循環器科	救急担当 部長	34年	日本内科学会指導医・認定医 日本循環器学会専門医 日本心臓学会「カハ」学会指導医・認定医 日本医師会認定健康スポーツ医
野末 則夫	医師	総合内科	科部長	30年	日本内科学会指導医・認定医 日本感染症学会専門医 日本医師会産業医 日本人間「シ」学会認定指導医
櫻井 厚二	医師	総合内科	第一科長	29年	日本医師会産業医
甲田 証	医師	総合内科	第二科長	26年	日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器学会認定医 日本内科学会認定医
中澤 浩二	医師	総合内科	嘱託医師	42年	日本内科学会認定医 日本老年医学会老年病専門医・指導医 日本人間「シ」学会認定指導医 日本医師会産業医
中村 智	医師	神経内科	科長	21年	日本内科学会認定神経内科医 日本神経学会認定医
福島 一成	医師	心療内科・ 精神科	科部長	24年	日本心身医学会認定医
本多 淳郎	医師	呼吸器内科	科部長	38年	日本呼吸器学会指導医・専門医 日本内科学会認定医
岡田 真司	医師	呼吸器内科	第一科長	10年	
津久井 賢	医師	呼吸器内科	第二科長	10年	日本内科学会認定医 日本医師会産業医
板谷 徹	医師	呼吸器内科	第三科長	11年	日本外科学会専門医・認定医 日本呼吸器外科学会専門医
景岡 正信	医師	消化器科	科長	16年	日本内科学会指導医・認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器学会専門医
大島 昭彦	医師	消化器科	医長	10年	日本内科学会認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器学会専門医
森 雅史	医師	消化器科	医長	8年	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医

志村 輝幸	医師	消化器科	医長	7年	
渡邊 明規	医師	循環器科	科部長	23年	日本内科学会指導医・専門医・認定医 日本循環器学会専門医
内藤 昭貴	医師	循環器科	科長	21年	日本内科学会指導医・専門医・認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管カテーテル学会認定医 日本医師会准業医 日本医療情報学会医療情報技士
阿部 信	医師	循環器科	医長	11年	日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医
田邊 寿一	医師	血液内科	科長	21年	日本内科学会総合内科専門医・認定医 日本血液学会血液指導医・血液専門医 ICD制度協議会認定ICD 日本がん治療認定医機構認定教育医・がん治療 認定医
唐橋 太郎	医師	膠原病リウマチ科	科長	18年	日本内科学会指導医・認定医 日本リウマチ学会専門医
金本 素子	医師	膠原病リウマチ科	嘱託医師	9年	日本リウマチ学会専門医 日本内科学会認定内科専門医
伊東 充宏	医師	小児科	科長	20年	日本小児科学会専門医 日本小児外科学会専門医 日本外科学会認定医 日本周産期新生児医学会指導医 PALS Provider 新生児蘇生法「専門コース」インストラクター
朝倉 功	医師	小児科	医長	11年	日本小児科学会専門医 PALS Provider
小山 尚俊	医師	小児科	医長	9年	日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医 PALS Provider
白川 元昭	医師	外科	科部長	28年	日本外科学会指導医・専門医・認定医
前間 篤	医師	外科	第一科長	19年	日本外科学会専門医

姜 建宇 医師	外科	第二科長	19年	日本外科学会専門医・認定医 日本大腸肛門病学会指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本大腸肛門病学会指導医・専門医 消化器がん検診認定医	医学博士					
島村 隆浩 医師	外科	医長	16年	日本外科学会専門医						
鈴木 一周 医師	心臓外科	科長	15年	日本外科学会専門医	日本心臓血管外科学会専門医					
阿久澤 聡 医師	心臓外科	医長	11年	日本外科学会専門医・認定医 日本循環器学会専門医						
高橋 毅 医師	呼吸器外科	科長	15年	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本胸部外科学会認定医						
阿部 雅志 医師	整形外科	科長	13年	日本整形外科学会専門医 日本体育協会公認入浴士	医学博士					
藤田 倫匡 医師	整形外科	医長	11年	日本整形外科学会専門医						
鈴木 重哉 医師	整形外科	医長	10年	日本整形外科学会専門医						
角谷 和夫 医師	脳神経外科	科部長	23年	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医						
航 晃仁 医師	脳神経外科	科長	12年	日本脳神経外科学会専門医						
山村 泰弘 医師	脳神経外科	医長	11年	日本脳神経外科学会専門医						
森田 勝 医師	形成外科	医長	8年	日本形成外科学会認定医						
峯岸 季清 医師	形成外科	医長	7年	日本形成外科学会専門医 麻酔科標榜医						

平野 恭弘	医師	泌尿器科		20年	日本泌尿器科学会指導医・専門医 日本透析医学会指導医・認定医 日本心治療認定医機構暫定教育医・心治療認定医
青木 雅信	医師	泌尿器科	科部長	16年	日本泌尿器科学会指導医・専門医 日本透析医学会指導医・専門医 日本泌尿器科学会泌尿器腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会泌尿器腔鏡技術認定医
今西 武志	医師	泌尿器科	医長	13年	日本泌尿器科学会指導医・専門医
森川 愛	医師	泌尿器科	医員	7年	
桐村 正憲	医師	産婦人科	嘱託医師	46年	日本産婦人科学会専門医・認定医
星 最智	医師	眼科	医長	11年	日本眼科学会眼科専門医 ICD制度協議会ICD 日本視覚硝子体学会認定医
森田 祥	医師	耳鼻咽喉科	科部長	12年	日本耳鼻咽喉科学会専門医
高橋 健二	医師	麻酔科	科部長	29年	日本麻酔科学会指導医 日本ペリソニク学会認定医 麻酔科資格医
航 尚子	医師	麻酔科	嘱託医師	11年	日本麻酔科学会指導医
甲田 賢治	医師	病理診断科	科部長	29年	日本病理学会病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医
金丸 仁	医師	臨床検査科	科部長	37年	日本乳癌学会認定医 日本外科学会指導医・認定医
村田 興	医師	化学療法科	科部長	24年	日本内科学会総合内科専門医・認定医 日本血液学会血液指導医・血液指導医 日本心治療認定医機構暫定教育医・心治療認定医 日本医師会認定産業医
吉野 吾朗	医師	緩和ケア科	科部長	24年	日本外科学会専門医・認定医 日本消化器外科学会認定医 日本緩和医療学会暫定指導医
田村 亨治	医師	禁煙指導室	室長	24年	

注) 教育責任者については特記事項欄にその旨を記載すること。

橋本 治光	医師	臨床研修 センター	医長	28年	ICD制度協議会CD 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医
-------	----	--------------	----	-----	---

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	187.24 m ²	(主な設備) ビデオプロジェクター、液晶プロジェクター、パワリックFLVシステム
多目的スペース	143.40 m ²	(主な設備) TV・ビデオ一式
医局研修室	66.29 m ²	(主な設備) コンピュータシステム、デジタルカラ ープリンター
図書室	299.22 m ²	(主な設備) 文献検索システム、スライド作成シ ステム、インターネット
3階カソフレスルーム	25.73 m ²	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカーソン
4階カソフレスルーム	26.40 m ²	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカーソン
5階カソフレスルーム	27.28 m ²	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカーソン
6階カソフレスルーム	26.84 m ²	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカーソン
7階カソフレスルーム	26.84 m ²	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカーソン
8階カソフレスルーム	37.83 m ²	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカーソン
カルチ管理室	235.46 m ²	(主な設備) カルチ管理システム (ANS-II)

注 1 「研修の実績」欄の「研修者数」は、前年度の研修生の実数を記載してください。
 2 「研修の体制」欄の「研修指導者」の「特記事項」は、教育責任者については、その旨
 を記載してください。

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理担当者氏名	院長 毛利 博
管理担当者氏名	経営管理センター 医事管理室長 藤坂 博樹 医療質管理センター 診療情報管理室長 池谷 健 事務部 管理課長 仙島 秀雄 地域医療連携センター 地域医療連携室長 石神 直之

診療に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	医事管理室	
	病院の管理及び運営	地域医療連携室	
	に関する諸記録	診療情報管理室 医事管理室 地域医療連携室	
	簿	地域医療連携室 医事管理室	
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者について入院期間中の診療経過の要約	診療情報管理室	
病院の管理及び運営	地域の実績 地域の実績 地域の実績 地域の実績 地域の実績	地域医療連携室 医事管理室 診療情報管理室 医事管理室 地域医療連携室	中央管理により、ターミナルプリント方式で分類保管（紙の診療記録） 入院カルテについては電子カルテ化している（眼科を除く）
に関する諸記録	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室 医事管理室	分類方法

注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

院長 毛利 博	閲覧担当者氏名	経営管理センター 医事管理室長 藤坂 博樹 医療質管理センター 診療情報管理室長 池谷 健 事務部 仙島 秀雄 地域医療連携センター 地域医療連携室長 石神 直之
	閲覧の求めに応じる場所	経営管理センター 医事管理室長 医療質管理センター 診療情報管理室長 事務部 管理課長 地域医療連携センター 地域医療連携室長
22 件	前年度の総閲覧件数	
0 件	医師	
0 件	歯科医師	
0 件	地方公共団体	
22 件	その他	

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

7 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回
委員会における議論の概要	別紙のとおり

注) 委員会の開催回数及び議論の概要について、前年度のものを記載すること。

藤枝市立総合病院運営懇話会会議録

1 日時 平成22年 5月27日(木) 17:30~18:30

2 場所 藤枝市立総合病院2階 多目的スペース

3 出席者()は欠席者)

委員 毛利会長 青島委員 池谷委員 池田委員 岩間委員 川口委員
川嶋委員 下村委員 山田委員 若林委員 中山委員 鈴木委員
河野委員 松浦委員 釜田委員 原田委員
オプザーバー 池谷副院長 横山副院長 香川副院長 渡辺副院長
事務局 仙島管理課長 五加総務係長 杉村

4 報告・協議事項

〔1〕平成22年度の当院の運営方針について

(毛利会長) 最新の320列CTを新たに導入し、10月頃には稼動見込みである。医師会の先生とはCDでのやりとりも可能である。今年は診療報酬改定であったが、今後医師会及び歯科医師会とも協力しながら地域医療連携に寄与していきたい。今年度採用の研修医は当院基幹型が5名、協力型は東大から1年目4名、2年目2名、浜医大から1年目4名であった。医学生修学資金貸付対象者面接試験を今週末に実施するが多数の応募があった。来年度の研修医枠を7名になるように依頼をしている。医師看護師の働きやすい環境対策にも取り組んでいる。医師の確保は少し先行きが明るいので、今後は看護師確保に努めたい。産婦人科は早い時期の再開をお願いしている。今年度も収入増と支出削減に努めていきたい。地域の皆さんのご理解ご協力を賜りたい。

〔2〕地域医療連携の取り組みについて

(原田委員) 資料1で説明。地域医療支援病院の名称承認を目指して紹介率の向上、地域がん診療連携拠点病院の再指定を受け、又、がん治療・がん看護の質向上・維持に向け取り組むとともにがん相談にも力を入れている。地域連携パスも少しずつであるが動いている。入退院センターは4月から運用が始まり、徐々に体制を整えながら現在入院患者の約7割まで手続きを行っているが、長期的には退院調整やベッドコントロールも視野に入れて、患者サービスを一番に考えて取り組んでいる。医療福祉相談はMSW3名相談事務職員2名で対応している。又、院内ボランティアの受入れと支援も行っている。在宅療養支援では訪問看護とケアマネ業務、訪問リハ業務を行っている。待てない急性期医療を考え今後見直しを進めていく。がん相談は地域がん診療連携拠点病院として1000件以上の相談目標が示されており、看護師長1名とMSW1名が対応している。

(毛利会長) 地域医療連携支援では、病棟連携、他医師会との連携を図っていくため病院として地域医療連携室を設置した。今年度の1番の目玉は入退院センターの設置である。まだ道半ばであるが、緊急入院の説明や退院患者への説明などは今後充実させていきたい。また緊急用としてフリーのベッドの確保も考えていきたい。がん相談はこれから大事に行っていきたい。

[3] 病院まつりについて

(管理課長) 資料2で説明。病院まつりを10月9日(土)に開催する。開催時間は10時～15時で催事内容は基本的には昨年並みで考えているが、創立60周年記念事業として行う。今年も市を上げての取組みとし、院外は病院支援局を中心に取りまとめを行い、今後は病院まつり実行委員会を中心に企画していく。各種団体などには今後お願いしていくが、ご理解ご協力のほどお願いしたい。

(毛利会長) よろしくお願いしたい。

[4] その他

○病院支援局の平成22年度の取り組みについて

(河野委員) 別紙資料で説明。病院支援局は病院と市民との橋渡し、病院経営に関する側面的支援を行っているが、今年度は経営改善担当部長と連携して進めていきたい。平成22年度での取組みとして、1点目は病院運営に対する市民参画に向けた手法の検討を行い実施していきたい。2点目は10月以降に予定している「いきいきトーク」で市長及び院長にも参加していただき、病院の現状と対応を説明していきたい。3点目は一般市民から声が出てくれば病院を支援する市民組織の立ち上げを支援していきたい。4点目は病院を市民の立場から考える「市民フォーラム」を年末に開催していきたい。病院まつりには創意工夫して参加していきたい。

(毛利会長) 「いきいきトーク」の予定はどうなっているか。

(河野委員) 「いきいきトーク」は1月に4か所で開催している。

(毛利会長) 「市民フォーラム」は委員の皆さんの意見も聞いて爽りのあるものを企画してもらいたい。

(下村委員) 病院を支援する市民組織は具体的に何かあるのか。

(河野委員) 平成20年度は市民組織の動きはあったが、今は無い。もし動きがあれば支援していきたい。

(毛利会長) 自然発生的に自治会など市民が中核となっていただけるとありがたい。最近では病院が落ち着いていると市民が感じているのかもしれないが、見えないところで応援していただけるのもありがたい。

○各委員からの報告、意見交換

(岩間委員) 6月に地域医療協議会医療部会、7月に協議会の開催を予定している。榛原総合病院は最近落ち着いていると思われる。志太榛原地域の地域医療再生計画は、全県で医師確保を行っていく計画である。看護師確保対策では隣接の静岡産業大学との協力を考えたかどうか。

(毛利会長) 看護師不足は真剣に考えていきたい。

(下村委員) 看護師の確保策として、潜在的看護師である結婚や退職者で復帰する人への支援として、院内保育所のような対応はどうか。

(毛利会長) 現状の院内保育所は規模が小さい。病院としては何とか看護師30人確保したいと考えている。院内保育所は現状3歳までの対象を5歳まで考えたいが現在、WGで検討している。

(川口委員) 多くの医師確保を期待したい。

—了—

○市民公開講座について
(管理課長) 6月16日(水)の市民公開講座は、「白内障の診断と治療」と題して開催するのでPRをお願いしたい。

○院内食堂について
(管理課長) 現在の食堂は5月20日まで現事業者が営業し、6月1日から新たな事業者が営業を開始する。特徴としては、焼きたてパン販売、フリンクパー設置がある。病院にお越しの際には是非ご利用いただきたい。
(下村委員) 売店は以前互助会の営業と聞いていたが。
(毛利会長) 売店は現在コンビニエンスストアとして公共料金の振込み業務なども取り扱ってもらっている。

5 その他

○院内食堂について
(管理課長) 現在の食堂は5月20日まで現事業者が営業し、6月1日から新たな事業者が営業を開始する。特徴としては、焼きたてパン販売、フリンクパー設置がある。病院にお越しの際には是非ご利用いただきたい。
(下村委員) 売店は以前互助会の営業と聞いていたが。
(毛利会長) 売店は現在コンビニエンスストアとして公共料金の振込み業務なども取り扱ってもらっている。

5 その他
している。
い状況にはなっている。市民や議会、市の協力のもと確実に改善している。非常に感謝
(毛利会長) 院長交代時が非常に悪い状況であったので、以前に比べて職員も含めて明る
ので市民フォーラムなどで市民に伝えていったらどうか。
に更新したり先行きが明るい部分の話を聞くとは安心するが、一般の方は分からない
(中山委員) 毛利会長から本日の懇話会で、厳しい状況の中でも積極的に医療機器を新た
(岩間委員) 全国レベルで考えるべきではないか。
しても良いのではないか。
(池谷副院長) 介護タクシーの利用を提案しているが知らない人がいるので、もっとPR
(毛利会長) 1病院では対応できないので国に決断してもらえないのではないか。
(若林委員) 患者さんの対応はまるでタクシーのように使っていることが問題ではないか。
(毛利会長) フォリカは民間で有料だが、そこまでは日本では出来ない。
(若林委員) 救急車有料化の話題があったが、どのように考えているか。
(毛利会長) 地域医療には引き続き協力願いたい。

藤枝市立総合病院運営懇話会会議録

1 日時 平成22年10月21日(木) 16:00~16:45

2 場所 藤枝市立総合病院2階 講堂

3 出席者()は欠席者)

委員 青島委員 池谷委員 池田委員 岩間委員 川口委員
毛利会長 川嶋委員 下村委員 山田委員 若林委員 中山委員 鈴木委員
河野委員 松浦委員 釜田委員 原田委員
オフサーバー 池谷副院長 横山副院長 香川副院長 渡辺副院長
事務局 仙島管理課長 五加総務係長 杉村

説明補助者 松野(市健康推進課長)

4 報告・協議事項

〔1〕 地域医療支援病院について

(毛利会長) 近隣では焼津市立総合病院とともに平成22年9月14日付けで、静岡県より地域医療支援病院に承認された。島田市民病院は来年度の承認申請と伺っている。承認には地域医療機関等からの紹介率60%以上の要件があり、この要件を満たして承認された。地域医療支援病院は地域医療を充実させることが大きな目的である。承認後も地域医療支援病院の承認要件を満たしていることが求められているので、今後とも地域医療機関とも連携して紹介・逆紹介に取組み、紹介率を確保していきたい。よろしくお願いたい。

(岩間委員) 複数年、紹介率が達成出来ない場合は、地域医療支援病院の承認について県医療審議会で協議されるのではないか。

(事務局) 当委員会は地域医療支援病院での要件として位置付けられており、原則年4回の開催と業務報告書での会議録の提出が求められている。

〔2〕 志太榛原救急医療センターの業務見直しについて

(鈴木委員) 資料1で説明。昭和57年に設置された志太榛原地域救急医療センターは、志太榛原地域の夜間の1次救急を担う施設として運営されているが、志太榛原医療圏内の医師不足等の影響もあり、運営時間は縮小されてきた。平成21年12月に採択された静岡県地域医療再生計画の中で、志太榛原救急医療体制の整備が盛り込まれ、関係機関と対応協議を進めてきた。地域医療再生計画は平成22年度から25年度までの4年間で、志太榛原医療圏の事業費は5億円である。そのうち志太榛原地域救急医療センターの整備を行うこととしている。また、平成22年8月より志太榛原地域救急医療センターの体制の整備として①深夜帯診療の再開、②感染症予防に配慮した施設改修、③診療機器の整備を行うこととしている。また、平成22年8月より志太榛原地域救急医療センターの診療時間は19:30~22:00となったが、22時以降の深夜帯の診療は県による圏域外からの医師確保がされ次第、診療を再開するとされた。今回、一部の圏域外の医師確保が出来たため、毎週金土日のみ静岡市内の3病院が交代で医師を派遣することにより19:30~翌朝7:00までの深夜帯の診療が11月より再開される。他の曜日は金土日の状況を見て今後、県が中心となって検討されていく。但し、県立こども病院医師の担当日

は小児科のみの診療となるので、広報をしっかりとしていく。

(毛利会長) 県立こども病院には小児科だけでなく内科のフリースタッフだけでもお願いできないか、島田医師会長からも依頼をしているが現段階では調整中である。平成25年度までの時限的な事業であるので、県の事業終了後の平成26年度以降の対応については県と検討してもらいたい。

(下村委員) 地域医療再生計画の目標の達成時期はいつなのか。
(毛利会長) 志木榛原医療圏内の医師数確保との目標であるが、現実的には厳しい目標である。県の修学資金制度の利用者が今後、研修医に採用されてくると数年後には新たに配置されてくる見込である。救急は少しづつでも改善されることを期待している。

[3] その他

○病院まつりについて

(管理課長) 病院まつりを10月9日(土)に開催し、悪天候のなか約2000人が来院され盛況であった。多くの関係団体のご協力を感謝したい。
(毛利会長) 今回は秋の運動会等の行事とも重なっており、来年度の開催時期については考えていきたい。今後よろしくお願いしたい。

○当面の病院の取組みについて

(毛利会長) 最先端の320列のCTを導入し、10月1日から運用を開始した。是非ご利用してもらいたい。医師確保については、少しづつではあるが改善される傾向にあり、引き続き努力している。

○各委員からの報告、意見交換

<地域医療を考える市民フォーラムについて>
(河野委員) 2月に「地域医療を考える市民フォーラム」を計画しているので、協力願いたい。

<在宅療養支援事業について>

(原田委員) 介護保険事業と医療保険による訪問看護を平成22年12月で終了し、訪問診療(医療保険)は当面、継続とする。また、退院患者さんが困らないように地域福祉施設とも連携し、研修会を行っていく。
(毛利会長) 当院は急性期医療の充実を図っていきたい。ご理解願いたい。

5 その他

○市民公開講座について

(管理課長) 11月17日(水)の市民公開講座は、「すぐにはわかる 病院での画像検査」と題して開催するのでPRをお願いしたい。
(若林委員) 第3水曜日の開催日は変更できないか。歯科医師会の会合日と重なるため、興味のある講演が聴講できないので開催日を検討してもらえたらありがたい。
(毛利会長) 来年度の開催日は医師会とも合わせて検討する。

1 日時 平成22年12月16日(木) 16:30~17:30

2 場所 藤枝市立総合病院2階 講堂

3 出席者 ()は欠席者

委員 毛利会長 青島委員 池谷委員 池田委員 岩間委員 川口委員
 川嶋委員 下村委員 山田委員 若林委員 中山委員 鈴木委員
 河野委員 松浦委員 釜田委員 原田委員

オブザーバー 池谷副院長 横山副院長 香川副院長 渡辺副院長
 事務局 仙島管理課長 五加総務係長 杉村

4 報告・協議事項

[1] 地方公営企業法全部適用について

(毛利会長) 焼津市立総合病院及び市立島田市民病院は平成23年度から地方公営企業法の全部適用に移行する。焼津市立総合病院の管理者と院長は別となるが市立島田市民病院は管理者と院長が兼務となる。当院については市長が6月の定例市議会で平成24年度の全部適用への移行を目標とすることを発表し、院内では全部適用プロジェクトチームを立ち上げて検討を始めた。

(管理課長) 資料1で説明。地方公共団体が経営する病院事業や上水道事業など公営企業には地方公営企業法が適用される。この法は「①財務、②組織、③職員の身分取扱」の3つの内容から構成されている。病院事業は従来から「①財務」のみを適用する「一部適用」として運営されてきたが、新たに「②組織、③職員の身分取扱」も含めた法の全ての規定を適用する「全部適用」として運営形態の移行を進めていく。全部適用となると組織関係では病院事業管理者が設置され、管理者は市長からの任命により、職員の任免や予算原案の作成、決算の調整、契約の締結などの権限が委譲される。但し、予算調整権や議会への議案提出権、決算の付帯査・認定付議は市長に留保されている。また、職員の身分取扱関係では、現状任意で設立された職員団体が労働組合法に基づく労働組合を設立することが可能になり、給与、労働時間、休暇その他の労働条件について労働協約を締結する権利が与えられる。但し、設立は職員次第である。また、職員の給与については、能率給の原則、病院の経営状況を加味した給与の決定が出来ることになる。全部適用となっても変わらないことは、職員の身分は地方公務員として藤枝市職員であり、今までと同様の市長部局との人事異動も行われる。なせ今、全部適用なのかであるが、平成19年総務省は「公立病院改革ガイドライン」の中で、「地方公営企業法全部適用」を始めとした経営形態への見直しをすすべていくと提言し、当院も平成21年3月作成の「中期経営計画(病院改革プラン)」の中で「過渡的には全部適用の導入が適当」とされ、近隣病院の動向を見るなかで平成24年度の全適用を目指すこととした。全部適用によるメリットは、事業管理者を設置して市長の有する権限を管理者に移行することにより、彈力的・効果的な運営が可能となり、自律性・効率性が高められ、仕事のやりやすい環境づくりが進められるところである。反面、デメリットは職員組合が組織化され労働協定の締結による労務管理上の負担の増加、市長部局との人事交流を行う場合の労働条件等の違いによる障害等が考えられる。全部適用後の課題は、単なる形式的な運用で終わることなく、人事・財務・予算執行の権限が管理者に實質的に委譲されなければ、そのメリットは十分発揮できない。自律度が高く、より機動的に運営できる体制のもと、経営責任の明確化や従事職員全員が経営意識を持つこと

により、効率的な経営による医療サービスへの向上を図ってきたい。

(毛利会長) 基本的には一部適用から全部適用への移行では職員自身の身分など大きく変わることはほとんど無いが、病院事業の管理者の資質が問われてくる。また、市長や市議会のチェックは今後も受けることになり、全ての権限が付与されている訳では無い。今後市長や市議会とは密接な連携を取っていく。総務省からは先ずは事業管理者を置いて全適化を進め、経営がうまくいかない場合には公設民営、民間委譲に進めていくことを提言している。経営がうまくいけば全適化のままでも構わないことになる。全部適用への移行についてはご理解願いたい。全適=独立法人への移行ではない。地域医療を担っていくための位置付けとしたい。

(下村委員) 島田市民病院は管理者と院長が兼務ということだがどういった形態なのか。
(毛利会長) 島田市民病院の現院長は退職して特別職の管理者となり院長を兼務することになる。
(下村委員) 労働協約締結する権利が組合に与えられるということだが、その内容の実施が当局側に義務付けられているのか。どのような内容が含まれるのか。

(管理課長) 労働協約の締結は当局が拒むことは出来ない。労働協約が前提となる。協約には給与、労働時間、待遇関係が主となり交渉権も含まれるが、公務員の身分は変わらないので制限はある。

(毛利会長) 全適化に向けての検討は1年掛けて全部適用プロジェクトチームで調整していく。病院支援局とも相談して詰めていきたい。

(下村委員) 過去の志大病院時代に組合との調整が難航したことがあったが、今回は円満な解決を期待したい。

(池田委員) 管理者の設置では焼津市立病院のように新たに外部から招聘するのと島田市民病院のように内部から登用するのではどちらが効果的なのか。

(毛利会長) 磐田市立病院の場合は院長及びブリーダーが充実していたので内部登用によって非常に内部から登用するのではどちらが効果的なのか。

(川嶋委員) 資料2で説明。平成7年4月に新病院移転とともに手探りのなかで病院ボランティアサークル活動がスタートした。一時期100名を超えた会員数は現在85名前後である。主な活動内容は、院内案内、車椅子移送、移動図書、衛生材料作り、裁縫、障害児(者)ショートステイ介助、病棟飾り棚展示、車椅子清掃、院内コンサートのお手伝いなどを行っている。院内案内は基本的に介護・介助は行っていないが正面玄関で家族の駐車場への車の移動時間中に患者さんを診療科へ案内する業務を3名のスタッフがやっている。車椅子移送では入院患者のりハビリへの移送が主で1日平均70~80名であったが、11月以降は患者数の増加に伴い1日平均100名となり現在は7~8名のスタッフのため重労働であるが気持ちよく活動に励んでいる。ボランティアスタッフはお揃いのピンクのエプロンで各々の活動を気持ちよく行っている。ボランティアスタッフの募集は患者相談室を通じて年間2~3名の方が加入していただいている。ボランティアメンバーへの研修では院内職員が講師となって当院の活動内容に沿った研修を行っている。平成10年3月には日本ボランティア協会に加入し、1000時間表彰者は37名となり、表彰を励みとして活動している。平成18年4月には「藤枝市立総合病院ボランティア支援要綱」が制定された。この支援要綱はボランティア活動の必要経費の一部を病院が負担していただく県内唯一の素晴らしいもので、病院がどれだけボランティアに期待しているかを感じている。また、運営資金の調達を目的にミニバザーを年1回開催している。今年度は創立15周年を迎えたが、ここまで継続できたのも病院のボランティアに対する理解や患者さんからの温かい言葉もあり、会員も気持ちよく活動に励んでいる。最近ではメンバーの高齢化や

[2] 病院ボランティアについて

— 7 —

[3] その他

○平成23年1月以降の診療体制について

(毛利会長) 平成23年1月から皮膚科と放射線診断治療科の各1名と4月から産婦人科3名、外科2名、皮膚科1名、小児科1名の9名の採用を予定している。4月から産婦人科の完全実施は難しいが、時間を掛けて体制を整え、改めて市民にお知らせするので、暫くはご理解願いたい。研修医も来年度は当院基幹型が今年度の5名から7名に増員見込である。今後志大榛原地域の医師の充実に向けて貢献出来ればと考えている。

○当面の病院の取組みについて

(毛利会長) 医師確保に向けて市長とともに浜松医科大学等を訪問し医師派遣の依頼を重ねてきた。現在、常勤医師7名であるが来年度は80数名となる見込である。将来的な希望としては高い理想ではあるが100~110名程度の医師確保を目標としたい。また、看護師確保も現状では大きな課題であり、看護大学等への訪問など努力しているが厳しい状況である。最近の病床利用率は平均85%位が多い時には100%超になることもあり、医師、看護師ともに大変な負担となっている。市議会、病院支援局には是非インセンティブを考えていただくようお願いしたい。

(若林委員) 看護師が20~25名増えないと1病棟は再開できないのか。

(毛利会長) 全国的に看護師不足であり、看護師確保を重点的な位置付けとして看護部長とともに取組んでいる。看護師確保に向けて皆さんのご協力を願いたい。経営に関しては徐々に改善の方向にあるが累積は赤字であり、少々の赤字解消を理由に市の負担金を縮小されると病院の経営は不安定となってしまふ。今後も医師、看護師確保に努め、油断の無いように経営努力をしていきたい。引き続き関係機関のご支援をお願いしたい。

○病院支援局の病院の取組みについて

(河野委員) 地域医療を考える市民フォーラムを平成23年3月18日(金)に計画している。また、病院の高度医療機器の購入などを目的としたミニ公募債の発行を計画しているが具体的な内容は改めて報告させていただく。平成23年9月には市健康福祉大会で浜松医科大学産婦人科の金山教授の講演会を計画している。よろしくお願いたい。

5 その他

○市民公開講座について

(管理課長) 1月19日(水)の市民公開講座は、「のどつかえ感について」と題して開催するのでPRをお願いしたい。

1 日時 平成23年 3月10日(木) 16:00~16:40

2 場所 藤枝市立総合病院2階 第一会議室

3 出席者 ()は欠席者

委員 毛利会長 青島委員 池谷委員 池田委員 岩間委員 川口委員

川嶋委員 下村委員 山田委員 若林委員 中山委員 鈴木委員

河野委員 松浦委員 釜田委員 原田委員

オプザーバー 池谷副院長 横山副院長 香川副院長 渡辺副院長

事務局 仙島管理課長 五加総務係長 杉村

説明者 鈴木経営担当係長

4 報告・協議事項

[1] 中期経営計画の進捗状況の報告について

(鈴木経営担当係長) 資料1で説明。平成21年度決算及び平成23年度予算(案)に基づき収

支計画等の一部見直しを行うとともに、中期経営計画の実施計画の進捗状況について取りまと

めた。純損益では、平成21年度実績で計画よりも6千万円改善、平成22年度見込みでも計

画よりも改善の見込である。引き続き、目標の平成25年度での黒字化を目指している。設備

投資計画は、施設については保育所の増設や老朽施設設備の更新等により7千万円~1億1千

万円余増額し、医療機器設備の更新等は平成24年度から1億円増額していく。一般会計繰入

金は、医業収益分や投資事業計画等にかかる基準内繰入分の見直しをしている。人員計画は、

医師数については、計画に比べ平成23年度で7人増加、平成24年度以降は計画に比べ6人

増加を見込んでいる。看護師数については、積極的な職員確保・定着対策による効果を見込ん

でいる。医師・看護職等の医療事務等軽減対策人員以外は減員となっている。実施計画は概ね

順調に推移している。未実施の7対1看護基準の取得については、看護師確保対策プロジェクト

トの活動を通して、早期実現を目指していく。経営形態の見直しについては、「地方公営企業

法全部適用に向けたプロジェクトチーム」を立ち上げ、平成24年度の導入を目的に準備を進

めている。今後の予定としては、実施済みの施策については更なる充実を図り、一部実施及び

未実施の施策についても各部署のヒアリング等を継続しながら、平成25年度内の目標達成に

向けて進めていくので、ご協力を願いたい。

(釜田委員) 総括すれば概ね順調に推移しており、平成25年度の目標達成は可能と思われる。

要因としては医師の確保が大きく貢献している。市民フォーラムで市民にも協力をお願いして

いくとともに医師会とも連携していきたい。

(毛利会長) 医師確保については、4月から産婦人科医3名採用し産婦人科が再開されるほか、

小児科医は1名となる。今後産婦人科医の更なる増加もお願いしながら周産期医療体制をよ

り充実させていきたい。

(香川副院長) 開業医での立ち会い分娩は今後も継続していく。

(毛利会長) 外科医も2名増加し、麻酔科医も10月頃には2名の増加が見込まれる。内科医の

確保は現状では厳しい状況であるが、全般的には医師確保は増加の傾向にある。平成22年度

決算見込では、医師、看護師の頑張りにより想定外に大きな改善となっている。入院患者も増

えているが、平成23年度は量だけでなく医療の質向上に向けてレベルアップを図っていく

(岩間委員) 榛原地区から患者が搬送される等の榛原総合病院の影響はあるか。
(池谷副院長) 榛原総合病院からは、まれに救急患者が搬送されることはあるが以前よりは改善されている。
(毛利会長) 7:1看護体制は未実施であるが看護師確保対策PTでも検討している。入院患者の問題、在院日数の問題を調整して看護師確保に向けた仕組みづくりを考えていきたい。

[2] その他

○地域医療を考える市民フォーラムの開催について
(事務局) 河野委員が欠席のため代理で報告。病院支援局を中心に「地域医療を考える市民フォーラム」を3月18日(金)に計画している。

○当面の病院の取組みについて

(毛利会長) 医師の増加もあって単月では黒字となる月もあるが、医師、看護師に大きな負担となっている。これからは地域連携は重要であり、患者に対しては病院完結型ではなく地域完結型にしていきたい。健康福祉も含めて満足できる医療体制も考えていきたい。国からは病院再編などにより病床削減という病床適正化に対する考えも出てくると思われる。
(池谷委員) 病床数の適正化というのは一般市民にはイメージ出来ない。一般市民からは少なくとも病床数減床は不安を感じる。市民への理解を求めることが大事なので、市民に分かりやすくPRしてもらいたい。

(若林委員) 未収金はどれ位あるのか。

(釜田委員) 現在は時効分も含め2億円位である。毎年4～5%増えているが事情のあるケースも多くある。今年度からは弁護士にも入ってもらって未収金対策に努めているが必ずしも良い結果ばかりでは無く苦慮している。収納率は昨年度よりは若干上がっている。
(毛利会長) 現状はなかなか厳しい状況にある。

5 その他

○市民公開講座について

(管理課長) 3月16日(水)の市民公開講座は、「大腸がんで手術といわれたら～大腸がんの検診から最近の手術療法まで～」と題して開催するのでPRをお願いしたい。

---了---

患者相談を行う場所	地域医療連携室 患者相談室																																									
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	MSW 3名 がん相談担当看護師 1名 名誉院長 他	患者相談件数																																								
	(平成22年度) H22年4月～23年3月	5326件																																								
患者相談の概要	<p>①患者相談の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>心理的問題</td> <td>663件 (12.5%)</td> </tr> <tr> <td>療養介護の問題</td> <td>591件 (11.1%)</td> </tr> <tr> <td>DV・育児</td> <td>189件 (3.6%)</td> </tr> <tr> <td>退院援助・在宅</td> <td>623件 (11.7%)</td> </tr> <tr> <td>受診援助</td> <td>411件 (7.7%)</td> </tr> <tr> <td>障害手帳・年金</td> <td>49件 (0.9%)</td> </tr> <tr> <td>医療費助成制度</td> <td>82件 (1.6%)</td> </tr> <tr> <td>経済的問題</td> <td>124件 (2.3%)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>470件 (8.8%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5321件</td> </tr> </table> <p>(がん患者相談) 再掲</p> <table border="1"> <tr> <td>心理的問題</td> <td>638件 (3.3%)</td> </tr> <tr> <td>療養介護の問題</td> <td>210件 (10.9%)</td> </tr> <tr> <td>DV・育児</td> <td>0件 (0.0%)</td> </tr> <tr> <td>退院援助・在宅</td> <td>143件 (7.4%)</td> </tr> <tr> <td>受診援助</td> <td>99件 (5.1%)</td> </tr> <tr> <td>障害手帳・年金</td> <td>8件 (0.4%)</td> </tr> <tr> <td>医療費助成制度</td> <td>23件 (1.2%)</td> </tr> <tr> <td>経済的問題</td> <td>38件 (2.0%)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>426件 (22.2%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1923件</td> </tr> </table>	心理的問題	663件 (12.5%)	療養介護の問題	591件 (11.1%)	DV・育児	189件 (3.6%)	退院援助・在宅	623件 (11.7%)	受診援助	411件 (7.7%)	障害手帳・年金	49件 (0.9%)	医療費助成制度	82件 (1.6%)	経済的問題	124件 (2.3%)	その他	470件 (8.8%)	計	5321件	心理的問題	638件 (3.3%)	療養介護の問題	210件 (10.9%)	DV・育児	0件 (0.0%)	退院援助・在宅	143件 (7.4%)	受診援助	99件 (5.1%)	障害手帳・年金	8件 (0.4%)	医療費助成制度	23件 (1.2%)	経済的問題	38件 (2.0%)	その他	426件 (22.2%)	計	1923件	<p>②名誉院長の医療相談</p> <p>5件</p>
	心理的問題	663件 (12.5%)																																								
療養介護の問題	591件 (11.1%)																																									
DV・育児	189件 (3.6%)																																									
退院援助・在宅	623件 (11.7%)																																									
受診援助	411件 (7.7%)																																									
障害手帳・年金	49件 (0.9%)																																									
医療費助成制度	82件 (1.6%)																																									
経済的問題	124件 (2.3%)																																									
その他	470件 (8.8%)																																									
計	5321件																																									
心理的問題	638件 (3.3%)																																									
療養介護の問題	210件 (10.9%)																																									
DV・育児	0件 (0.0%)																																									
退院援助・在宅	143件 (7.4%)																																									
受診援助	99件 (5.1%)																																									
障害手帳・年金	8件 (0.4%)																																									
医療費助成制度	23件 (1.2%)																																									
経済的問題	38件 (2.0%)																																									
その他	426件 (22.2%)																																									
計	1923件																																									

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。

備考

記名押印に代えて、申請者(法人にあっては、その代表者)が自署することができます。